



インドネシア発 海洋汚染を食い止める
海藻由来のパッケージ「BIOPAC」
nusantara <https://nusantara.handcrafted.jp>

海藻由来のパッケージ「BIOPAC」が注目を集めている。

BIOPACはインドネシアのアトマジヤカトリック大学元教授ノルヤワティ博士によって開発された生分解性100%の新素材。水の中では約10分、土の中では10日前後で分解される。

また、原料となる海藻は綺麗な海と太陽があれば、45日間で育ち、インドネシアの沿岸部で働く海漁農家の収入の確保にもつながる。

プラスチックを含む海洋ごみが様々な問題を引き起こすいわゆる「海洋プラスチック問題」が世界



▲海藻由来のBIOPAC



▲BIOPACの原料生産は海藻農家の安定的な収入源にもなり得る

的な課題となる中でBIOPACはプラスチックの代替品として期待され、欧米では環境意識の高い先進企業を中心に活用されている。BIOPACの正規日本代理店を務めるのが「nusantara」だ。

同社は大学時代インドネシア・ジャカルタに留学した経験を持つ阿部安紀子氏が神田外国語大学の卒業生3人と共に「インドネシアのイイものと文化を日本へ」という理念を掲げ、19年に創業。インドネシアの伝統工芸と天然素材を生かしたハンドメイド雑貨を現地の職人から直輸入して展開する。



▲FSC認証のチークコースター。渡り鳥であるツバメのブランドロゴには日本とインドネシアの架け橋になりたいという思いが込められている



▲nusantaraではラタンやパティックなども展開する

ラタン製品やFSC認証のチーク材などを使用した木製食器は特に人気でOEMにも対応。また世界無形文化遺産にも登録されている、ろうけつ染め布地「バティック」のコースターやクッションカバー、スカーフなども日本人の感性と暮らしにマッチした商品として好評。現在はインドネシア産コーヒー豆やハーブティーなども含め300品目以上の商品を展開する。

商品は自社サイトで販売する他、イベントなどでも販売している。「BIOPACとはインドネシア国民銀行が主催する商談会に参加したのをきっかけに出会い、その素材の素晴らしさと可能性、背景にあるストーリーに共感しました。23年1月から正規日本代理店として市場開拓のお手伝いをさせていただいています」という同社では現在、製品として、シートやサシェ

(マチがない袋)、ガゼット(マチ付き袋)などを展開する他、オリジナルパッケージの製作にも対応。サステナブル性はもちろん、着色・プリント可能で、ヒートシールで接着でき、また厚みの調整もできるという機能性も好評で、企業のみならず学校などからの引き合いも増えているという。

「インドネシアでは環境に配慮された商品が生活に染み込んでいます。日本の皆さまにインドネシアの良いもの、文化を知っていただき、取り入れていただけたらと考えています」(同社)

ギフト・ショーへの出展も考えているというnusantara。BIOPACと同社の取り組みは海洋汚染を食い止めるとともに、日本とインドネシアの架け橋ともなり得るのかもしれない。

【問】 nusantara.jp.id@gmail.com